

賀茂霞堤地区 作業部会意見集約

会議開催日 令和6年6月6日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
1	昨年の6月出水について、計画されている小堤との比較結果が知りたい。もし小堤が出来た場合、越流したのかどうか。地元説明会でも同様の質問が予想される。	小堤高は平成23年洪水を対象に設定しているが、昨年、6月出水と同規模の出水があった場合でも防除することは可能です。	国	
2	昨年の6月出水について、下流の方に話を聞いた際、水が濁っていなかったと聞いたため、内水氾濫であった可能性もある。樋管の施工箇所周辺にある国交省の土地を、遊水地のような形で使用していくことは考えているのか。それが難しい場合、ポンプで排水するしかない。	国としては遊水地としての使用やポンプの設置は考えていません。	国	
3	資料1の21ページに既往洪水毎の推定浸水範囲が、29ページにはS44実績浸水範囲とある。この推定浸水範囲と実績浸水範囲とあるが、違いは何なのか。 例えば、29ページで令和5年推定浸水範囲とあるが、これは調査をしておらず国の方で推定した浸水範囲ということか。	推定浸水範囲と実績浸水範囲の違いはなく、ともに実績であるが痕跡の十分なデータがないので推定とし記載しています。	国	
4	賀茂地区で樋管工事を先行してありがたいが、過去に4地区同時に工事着手するという話があった。今回の資料に小堤整備に数年かかるということであるが、樋管完成後、小堤整備も早く完成してほしい。	小堤整備も早く進められるように設計等の準備を進めていくとともに予算確保に努めます。	国	
5	現在工事用道路が整備されており、無堤区間であった以前と比べ、一定程度の浸水低減効果があると思われる。樋管完成後は工事用道路を撤去する予定なのか。今後、樋管本体内工着工や小堤整備に数年の期間を要するため、可能であれば工事用道路は出来るだけ残していただきたい。	現状、残しながら今後の工事を進めていく予定です。 U字型の部分は残すが、樋管本体周辺の一部は今後取り外す予定です。	国	
6	現在の樋管工事現場を、自治会の役員で見学しに行くことは可能か。その際、書類などが必要なのか。	可能である。事前に出張所に報告してもらえば、工事現場の方に伝えておく。都合が合えば同席することも可能です。	国	
7	去年の6月2日は中へ降った水が抜けず、内水被害があった可能性が考えられる。昨年の出水に対し、過去の洪水の方が豊川の水位が1m近く高いこともあった。排水が出来なかったのか。	豊川の水位が高かったため堤内の排水ができなかったと推測されます。	国	
8	霞地区が浸水した際に、情報がピンポイントで住民に伝わってない。宇連ダムからの放流情報がなかなか伝わらなく被害が出ている。放流の必要性は理解できるが、放流により豊川の水位が上がる。石田観測所の水位を見ながら、家財道具や車の避難を開始するのにどうしても時間が無い。時間を稼ぐためにも事前情報の伝達方法を再検討してほしい。	通常、ダム等から放流する場合は30分～1時間前にサイレンを鳴らしている。また、放流情報は関係機関へも通知される。ダムから放流する場合の事前情報の伝達方法は関係機関で調整し、検討します。	国、市	
9	例えば防災無線など、住民に伝わるようにしてほしい。回転灯は回りっぱなしになっているため、あまり効果がないと感じる。伝える情報についても、もうじき浸水する・浸水が開始した、などの情報だと望ましい。	昨年の洪水を受け、市では豊川水系で浸水1時間前になったら「豊橋ほっとメール」で情報を周知する取組を昨年度から運用を見直した。そういった情報も活用いただきたい。	市	
10	「豊橋ほっとメール」を使用できる方は避難の問題はないと思われる。それ以外の年配者や単身高齢者が問題である。浸水が開始すると、警察や消防も救助はなかなかできない。	「豊橋ほっとメール」に限らずテレビやラジオなど複数の手段で情報を収集し、早めの避難を心がけていただきたい。	市	
11	危険性が判明した時点で、消防団や警察のパトロール車が中まで入ってきて、情報を伝達してほしい。	「豊橋ほっとメール」や同報系防災行政無線など複数の手段で情報を伝達する。早めの避難を心がけていただきたい。	市	
12	車や農作業の機械を堤防中段に避難させようとしたら、許可が下りなかったことが過去あった。栗八名の住民などを対象に災害時には許可をいただきたい。 堤防敷を広くし、町内の人間が車や農機具の避難に使える場所と災害用に行政が使用できる場所の両方が確保できれば望ましい。	以前、地元から場所の提案はあったが、結局需要がないとのことで途中でストップした経緯があります。	市・国	
13	昨年度の地元説明会で出た意見に対する回答の中に、「6月2日出水に対し、宇連ダムは必要な空き容量が十分確保できていたため事前放流を実施しなかった」とあるが、事前放流の実施判断や実施はどのタイミングで行うのか。	各ダムで基準雨量が定められており、基準雨量を超えた場合は事前放流の実施体制に入る。その際に、ダムの貯水可能量の算出等を行う。その結果、貯水容量が足りない場合に事前放流を行います。	国	

賀茂霞堤地区 作業部会意見集約

会議開催日 令和6年6月6日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
14	緊急放流を行う際、事前に情報が欲しい。大雨により豊川が増水している中で放流を行うため、一気に水位が上昇することは明確であるため。	ダムからの放流通知は豊橋河川事務所でも受け取っているため、こういった方法で住民へ伝達していくか、今後検討していきます。	国、市	
15	設楽ダムの完成が前倒しになるという予定はないか。当初は霞地区と設楽ダムは別事業だから予算は付くという話であったが、いつの間にかダム建設延期に伴い霞堤事業も延期することになっていた。	設楽ダムの完成が前倒しになるということは聞いていない。資料内P10に今後の整備スケジュールを示しています。	国	
16	現状で霞地区の工事終了はいつになるか。工事を始めたら一気に進めてほしい。工事期間が空いてしまうと予算が付かなくなるのではないか。	計画的に進められるように予算要求をしています。	国	
17	期成同盟会で設楽ダムの建設現場の視察はできるのか。	視察のご意向があれば、地元の同盟会の会長と相談して進めていきます。	国	
18	他の4地区の作業部会は終わったのか。どのような意見があったか。	金沢、下条、牛川地区は終わっています。 水害被害に対する補償・支援、豊川放水路の影響や運用について、地元説明会に向けて資料を住民向けに分かりやすくしてほしい、情報共有・情報公開に関する意見がありました。	国	
19	資料1の8ページの通行止めについて、農道に入り込んでくる車がいて困っている。	3.5メートル以上の幅員がある道路と、通行止めが必要と思われる計12箇所を選定している。材料と人手の関係で全域通行止めの看板を設置するのは、不可能である。片側のみ通行止めをしているため、通行すること自体は可能です。	市	
20	8ページのNO.7のところは小野田への迂回路になるので、ここに県道の通行止めを強調する看板を置いて、迂回を誘導したらどうか。去年の洪水では浸水している。	安全優先で対応しているため、通れる道もあるとは思いますが、広範囲で通行止めをかけています。	市	
21	水が浸いてからはその対応で構わないが、浸いて通行止め看板を設置するまでの時間に車が入ってきて邪魔である。 市道及び県道の通行止め看板は誰が設置しているのか。	市では業者等に委託せず、市で設置を行う。県では協定業者に委託して設置を行います。 通行止めの前に巡視をし、1時間前には到着をし、看板を設置しており、基本的に浸水する前に看板設置は完了している認識です。 迅速に看板設置をするために、あらかじめ路肩に看板を置いたり、大雨の降る前日に置くなどの対応をしています。	市	
22	県道より先に市道の通行止めを行うことは可能か。	基本的に県道と同時で行うよう、連携している。ただ、解除の際は田んぼの方が県道より低いため、まだ浸かった状態になる可能性がある。よって、解除の際は県道と市道のタイミングがずれる可能性があります。 設置のタイミングは浸水開始1時間前が目安です。	市	
23	もっと早く通行止めを行うことはできないのか。	ずっと常駐していれば可能だが、水位にも上昇のスピードがあるため、水位を常時監視しながら通行止め規制を並行して行っているのが実態です。	市	
24	地元説明会はいつ頃を予定しているか。	7月中旬から下旬ぐらいで考えている。また日程は調整させていただきます。	国	
25	地元説明会のときに、現状の霞堤の様子を見せてほしい。現在の状況を知らない人も多くいると思う。画像ではなく映像だとありがたい。	了解した。ドローン等の映像により状況を確認いただきます。	国	
26	資料内に今後の事業スケジュールがあるが、来年や再来年の予算は確保できそうなのか。	来年は横ばいで、今年度と同程度の予算を想定しています。	国	